

2014年の幕開けにあたり、関係機関より挨拶を頂きました

遅ればせながら、皆様、明けましておめでとうございます。

日南町の林業に関係する機関の方々より、新年の挨拶を頂きましたので、別紙にてご案内いたします。

NPO法人フォレストアカデミージャパンも日南町の林業振興の為に本年も頑張っております。

(寄稿: 日南町長 増原 聡様、日南町役場 議長 村上 正広様、鳥取県農林水産部森林・林業振興局長 嶋沢 和幸様、日南町森林組合代表理事組合長 内田 博長様、日南町木材生産組合長 浅川 三郎様、日南町商工会長 天崎 直幸様)



日南町産材を内装に使用した境港第二中学校を視察しました。

NPOでは境港市竹内町の市立第二中学校に視察に伺いました。昨年新築となった同校舎の内装には、日南町阿毘縁にて境港市所有の水源林で83年～88年にかけて当時の小学生が植林した杉板を使用しています。当時植林した小学生が親となり、子供が学校に通っている例もあるようで、流域交流の長い歴史も感じられます。(内装材として木材をふんだんに使用した造りになっています)

境港市が所有する阿毘縁の水源林では、9万5430本の杉・檜が植林され、流域の上水道・農業工業用水の源となっています。漁業の町境港市にとって日野川の質・量ともに豊かな水が欠かせないものであり、海の町の境港の子供たちに山の緑の大切さを教える為の材料としても貴重な機会でありました。

森林の維持管理は日南町森林組合が委託を受けています。今回はそのうち40本を使用して、ランチルーム・玄関・生徒用玄関・校長室等の腰板としました。境港市ではこういった取り組みは今回が初めてとの事です。

同中学校の松本校長の話では、木材を使用した内装で、冬の朝でも温かみがあること、水資源保護の為に植樹した苗が建築材料として帰って来たことは粋な計らいであると感じている、境港と日南との交流を更に深めていく契機となればと思っている・・・との言葉を頂きました。

